

令和元年度 事業報告

メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

（公社）仙台市老人クラブ連合会は、令和元年度においても（公財）全国老人クラブ連合会の掲げるメインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」と「健康・友愛・奉仕」の三大目標を掲げ活動し、「高齢者の健康づくり」「介護予防」「生きがいづくり」事業に力を入れて取り組んできた。

平成 30 年度当初 1 万人を下回った会員は、増強運動と退会抑止の取り組みにもかかわらず、令和元年度は 9 千人を下回る状況になった。会員の減少が続く状況を受け、これまでも増して、会員の減少特に会員クラブの退会をどのように防ぐかを当連合会の最重要課題とし、取り組みを進めたところである。

平成 30 年度に策定した「新会員増強計画（平成 30 年度～平成 32 年度）」の施策、「未加入高齢者の加入促進」、「退会の抑止」、「未加入クラブの加入促進」、「新規老人クラブの立ち上げ」、「広範な PR」について、区老連、地区老連、そして単老の各組織レベルにおいて如何により具体的な活動に移していけるかについて理事会等で検討し、状況、課題、そして必要な取り組みについて、共有を図った。

会員の減少は、収入の減少につながっており、平成 30 年度に使途計画を変更し計画期間を延長した救済金も令和 2 年度がその最終年度となることと合わせ、事業の見直しも喫緊の課題として、理事会等での検討を進めた。

その検討を踏まえ、理事会では、役員等の会議出席などに対する費用弁償の削減を実施することにしたところであり、今後も必要な見直しを行っていくこととしている。

各部の活動であるが、まず総務部会では、新会員増強計画の推進のため、それぞれの重点目標について、課題と施策、実施方法の検討を行った。

企画広報部会は、年 2 回発行の機関誌「伊達なクラブ仙台－仙老連－」の内容について検討し、老人クラブの活動のより一層の情報発信に取り組みつつ、機関誌作成費用の削減のため、業者委託した場合の課題等について検討を進めてきた。そのほか、情報紙「伊達なクラブ仙台」を発行した。

教養文化部会は、単位老人クラブの活動の活性化を図る目的もあり、新しく単位老人クラブの会長になられた方を対象に、「新任単位老人クラブ会長研修会」を実施した。また、わが国では、認知症の人は、今後も高齢化の進展とともに増加すると見込まれており、認知症対策は喫緊の課題になっている。そこで、最新の認知症研究の動向及び認知症に対する医学的見地から東北福祉大学の高野教授をお招きして、「成りたちから考える認知症の現在」という演題で、「脳の健康づくり研修会」を実施した。

保健体育部会は、今年度も高齢者の体力づくり、健康づくりを楽しく取り組めるよ

うにと、「ゲートボール・ペタンク大会」・「体育祭」・「グラウンド・ゴルフ大会」を運営に工夫しながら開催した。各大会の運営に関しては、会員のご意見も勘案し、より良い運営になるよう心掛けた。今後も、さらに検討を重ね、改善していく。

女性部会は、「女性部企画研修会」のテーマを検討し、高齢化する現代社会の地域課題に対し、今後の老人クラブの活動や期待される女性会員の活躍について考える機会として、東北学院大学名誉教授の遠藤恵子先生に「高齢男性の生活最前線」～男女共同参画の視点から～と題して講演していただいた。

また、第22回仙台市高齢者生きがい健康祭では、各区より作品を持ち寄り、展示販売を行うとともに、恒例となった野菜市も実施し、多くの市民に足を運んでいただいた。ステージでは、東京オリンピックを盛り上げる内容も取り入れて、歌、ダンス、踊りで会場を大いに盛り上げることができた。

若手部では、いまの老人クラブを支えていく人材を育成するために、「若手リーダー養成講座（全9日間）」を開催した。内容としては、開講式、パソコン教室（6日間）、「行事を企画するために」と題した研修を2日間実施した。

また、仙台市介護予防月間のイベント「元気力アップフェスティバル（11月17日）」では、仙台市シルバーセンター1階アトリウムのコーナーにおいて、老人クラブの日常活動等の写真をパネルにして展示するほか、今回、初お目見えのダーツのほか、輪投げ、グラウンド・ゴルフを用意し、来場された方に実演し、講習しながら共に楽しみ、老人クラブの存在、目的、活動等をアピールすることにより、会員増強に努めた。

高齢者相互支援活動委員会は、啓発事業の具体的な実施方法を検討しながら、モデル地区の支援を行った。また、各区のモデル地区の活動の成果を発表する機会として「高齢者相互支援活動リーダー研修会」を開催し、高齢者同士が支え合って地域に根ざした活動について研修した。

当連合会の愛称「伊達なクラブ仙台」については、各単老の名称に使用されるなど徐々に浸透しつつあり、これからもより広く認知されるように、さらにPRに努めていく。

当連合会、「伊達なクラブ仙台」は、これまでの各種事業を引き続き魅力的なものとなるよう検討するとともに、高齢の方々に対し、当連合会の存在をアピールし、より多くの方に老人クラブの目的、活動を知っていただき、老人クラブの活動とともに参加していただけるような会となるよう、これからも引き続き努力していく。

事業実施状況

1 会議

(1) 通常総会 1回

① 令和元年5月27日

仙台市シルバーセンター1F 交流ホール

- ・平成30年度事業報告並びに収入支出決算について
- ・令和元年度事業計画並びに収入支出予算について
- ・役員の変更

(2) 理事会

- ①令和元年5月8日 (第1回)
 - ・ 仙台市老人クラブ連合会会長表彰について
 - ・ 正副会長会規程の一部改正について
 - ・ 総会提出議題について
 - ・ 正会員の承認について
- ②令和元年5月27日 (第2回)
 - ・ (公社)仙台市老人クラブ連合会会長の互選について
 - ・ (公社)仙台市老人クラブ連合会副会長の選任及び会長代行副会長の互選について
 - ・ 常務理事の選任について
 - ・ 事業専門部部長の選任について
- ③令和元年6月20日 (第3回)
 - ・ 新会員増強計画の推進について
 - ・ 事業専門部部員及び高齢者相互支援委員会委員の承認
- ④令和元年9月19日 (第4回)
 - ・ 新会員増強計画の推進について
 - ・ 事業専門部部員の承認
- ⑤令和元年12月19日 (第5回)
 - ・ 令和2年度事業計画(案)について
 - ・ 令和2年度収支予算(案)について
 - ・ 正会員の承認について
- ⑥令和2年3月6日 (第6回) (決議の省略)
 - ・ 令和2年度事業計画(案)について
 - ・ 令和2年度収支予算(案)について
 - ・ 令和2年度通常総会の開催について
 - ・ 会議等への出席に対する費用の取り扱いについて

(3) 監事会

平成31年4月23日 ・ 平成30年度事業及び会計監査について

(4) 正副会長会 12回(毎月)

(5) 専門部会

総務部 6回、企画広報部 5回、教養文化部 4回、保健体育部 6回、女性部 6回、若手部 8回

(6) 高齢者相互支援活動委員会 2回

(7) 全国老人クラブ連合会関係

- ①北海道・東北ブロック老人クラブ連合会会長・事務局長会議(4/11~12、秋田県)
- ②都道府県・指定都市老人クラブ連合会事務局長会議(7/31)
- ③都道府県・指定都市老人クラブ連合会代表者会議(1/29~30)
- ④全老連評議員会議(6/18)
- ⑤全老連理事会(3/11)(決議の省略)

2 研修会

(1) 仙老連研修

①若手部人材養成研修(全9回)

6月24日~7月30日

若手リーダー養成講座 第7期生

仙台市福祉プラザ 受講生21名

・ 開校式・講義

「養成講座開催の趣旨、日程、会場等」

仙老連若手部副部長 佐々木 英二

「老人クラブの沿革、養成講座開設の経緯」

仙老連事務局長 二本柳 基

・ 研 修

「行事を企画するために」(2回)

仙台市レクリエーション協会 加藤 淳子氏

・パソコン教室（7月1日～7月30日 全6回）の実施

ワード・エクセル（案内文、会計簿作成等） 講師：福沢パソコン同好会

②新任単位老人クラブ会長研修会

7月5日

仙台市福祉プラザ11階 第1研修室 参加者27名

・基調説明 「(公社) 仙台市老人クラブ連合会の組織と助成金等について」

仙老連事務局長 二本柳 基

・基調説明 「熱中症対策について」

大塚製薬工場 大塚 賢人氏

・基調講演 「仙台市老人クラブに期待する事」

仙台市高齢企画課課長 白岩 靖史氏

・活動報告 「単老活動の紹介」

太白区西多賀地区佐保山みどり会会長 佐々木 茂

泉区東二地区明石南悠和会会長 久道 悦子

③女性部企画研修会

11月21日

仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者233名

・講演 「高齢男性の生活最前線」～男女共同参画の視点から～

講師：東北学院大学 名誉教授 遠藤 恵子先生

④地区老連役員研修会及び単位クラブ役員研修会

各区老連にて開催

(2)全老連関係研修

①東北ブロック老人クラブリーダー研修会

7月11日～12日

岩手県盛岡市

参加者 44名

・基調報告 「5か年の会員増強運動と今後の方向」について

全国老人クラブ連合会 参事 河野 敦子

・グループ討議 「100万人会員増強運動を終えて！」

テーマ

ア 本運動の取り組みの教訓から学んだこと

イ 今後の会員加入促進の取り組み

ウ 超高齢社会における老人クラブの役割

・活動発表 クラブ紹介

1 会員増強、私達の秘訣

福島県白河市白寿会連合会

昭和町昭寿会 会長 大木 信夫

2 初原老人クラブ長生会の活動について

宮城県松島町老人クラブ連合会

初原老人クラブ長生会 会長 佐藤 純子

3 三陸の奇跡・普代村：

東日本大震災と会員増強運動

岩手県普代村老人クラブ連合会 会長 金子 英雄

・講演 「これからの地域見守り

－機械ではなく機会をうまく使おう！」

岩手県立大学社会福祉学部 教授 小川 晃子氏

- ②活動推進員等職員セミナー 8月27日
参加者なし
- ③北海道・東北ブロック老人クラブ連合会活動推進員事務担当者会議
9月10日～11日
福島県福島市
- ④第32回全国健康福祉祭和歌山大会 11月8日～11日
ねんりんピック紀の国わかやま2019 和歌山県内 仙台市選手団169名
・水泳、ゲートボール、地域文化伝承館視察 (仙老連3名)
- ⑤第48回 全国老人クラブ大会 11月26日～27日
彩の国さいたま芸術劇場
大宮ソニックシティ 参加者 2,394名
(仙老連5名)

1 活動交流部会

2 式典

式典においては、下記の皆様が、これまでの活動の功績が認められ、全国老人クラブ連合会会長表彰を受賞されました。

- | | | |
|---------------|-----|-------|
| ・育成功労表彰 | 太白区 | 田中 重雄 |
| ・育成功労表彰 | 泉区 | 高橋 鐵朗 |
| ・優良老人クラブ表彰 | 青葉区 | 中山西寿会 |
| ・優良老人クラブ連合会表彰 | 泉区 | 北地区老連 |

- ⑥高齢者の健康づくり・生活支援セミナー 12月12日～13日
参加者 2名

3 広報活動の推進

(1)機関誌「伊達なクラブ仙台ー仙老連ー」の発行

企画広報部員による編集会議を開き、全クラブ会員へ配布(年2回)

区役所、市民センター等に配置、全老連を通して各県老連、政令市老連へ配布

- ①第118号 令和元年7月25日 発行 (10,000部) 16ページ

新正副会長あいさつ

新役員紹介

通常総会

令和元年度事業計画

各区老連事業計画

東西南北

グラウンド・ゴルフを楽しもう!!

- ②第119号 令和2年1月28日 発行 (10,000部) 16ページ

仙老連会長・仙台市長年頭あいさつ

第48回全国老人クラブ大会

新春交流会

元気で暮らすために(趣味について)

東西南北

公式ワナゲにチャレンジ!!

TOPICS

(2)情報紙「伊達なクラブ仙台」の発行

機関誌発行月以外の奇数月に、情報発信として単位クラブへ配布(年3回)

(新型コロナウイルス感染症対応のため事業中止があることから3月発行見合わせ)

4 会員加入増強対策の取り組み

(1) 仙老連会員増強対策の推進

(2) 新規会員・クラブ獲得に対する表彰と奨励金の交付

- ・新規会員の純増数 5区 18クラブ 82名 (H30年度 35クラブ 183名)
- ・新規加入クラブ数 2区 2クラブ 93名 (H30年度 1クラブ 38名)

5 関係団体との連携強化

(1) 仙台市、健康福祉事業団、シルバー人材センター並びに社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携協力

(2) 警察署、消防署、仙台市消費生活センターとの連携強化

(3) 令和2年新春交流会の開催

令和2年1月9日
パレスへいあん 参加者 64名

6 地域社会貢献、世代間交流活動の推進

高齢者が培った豊かな経験、知識、技術を生かすとともに若い世代の人たちと活動を共にし、相互の理解を深め合う世代間交流を推進

(1) 活動内容

< 伝承活動、世代間交流 >

七夕作り、しめ縄作り、昔遊び伝承、茶道教室、餅つき、そば打ち、カレー作り

< 友愛・ボランティア活動 >

声掛け安否確認、一人暮らし訪問、茶話会、福祉施設慰問交流

< 環境美化、リサイクル >

花壇花植え、町内花プランター設置、公園清掃

(2) 実施件数

103件

(青葉区 19件、宮城野区 10件、若林区 17件、太白区 37件、泉区 20件)

7 社会奉仕活動の推進

(1) 「社会奉仕の日」 9月20日前後1週間を重点的に活動

(2) 通年活動の実施 (5区 39地区)

8 健康づくり活動の推進

(1) 第39回ゲートボール大会及び第13回ペタンク大会

9月6日

シェルコムせんだい 参加総数 253名

< ゲートボール >

コート4面 16チーム 96名参加

(成績) 優勝 燕沢地区 千歳会 (宮城野区)

準優勝 七郷地区 下荒井ほのぼの会 (若林区)

優秀賞 荒町地区 東八南部睦会 (若林区)

優良賞 西多賀地区 西多賀福寿会 (太白区)

※最高齢選手表彰 加藤 文雄 (泉区)、植木 静子 (太白区)

< ペタンク >

コート16面 32チーム 113名参加

(成績) 優勝 南地区 虹の丘シニアクラブ (泉区)

準優勝 東中田地区 東中田伊達な若人会A (太白区)

優秀賞 荒町地区 土樋・石名坂チーム (若林区)

優良賞 八幡地区 八幡ピース (青葉区)

※最高齢選手表彰 入江 昌一郎（青葉区）、猪俣 とよ子（青葉区）

(2)第11回グラウンド・ゴルフ大会

11月1日

シェルコムせんだい 参加総数 289名

(成績) <男性の部>

<女性の部>

優勝 別府 靖雄 (若林区)	優勝 菊地 柰子 (太白区)
準優勝 遠藤 政一 (太白区)	準優勝 佐藤 麗子 (青葉区)
優秀賞 阿保 敏昭 (青葉区)	優秀賞 梅木 三枝子 (太白区)
優良賞 遠藤 勇次 (太白区)	優良賞 門間 寿子 (若林区)
敢闘賞 大沼 恒雄 (青葉区)	敢闘賞 黒川 満江 (太白区)

※最高齢選手 大森 良樹(若林区)、槇 まさ江(青葉区)

(3)第55回 仙老連体育祭の開催

10月11日

仙台市体育館 競技・演技6種目

参加総数 1,492名

五区の老人クラブ会員代表が、「カメイアリーナ仙台」(仙台市体育館)に集い、スポーツ競技や集団演技を通して、高齢者の健康づくりと老人クラブ活動の理解を高める事業である。

区老連対抗として4種目の競技で競い、優勝した区老連には優勝トロフィーの授与が行われることにより、区老連の団結が図れた。(優勝区老連 泉区)

(4)高齢者ウォーキングの実施 (通年)

209回実施

(青葉区31回、宮城野区9回、若林区15回、太白区84回、泉区70回)

(5)六和功普及会の育成

六和功とは中国太極拳 24式から長所を取り入れ六つの型に工夫した健康運動法である。

② 六和功教室の開催 各地域、各地区老連への実技指導を展開し普及

② イベント参加 高齢者生きがい健康祭、仙老連体育祭

(6)体力測定事業の実施 (各区年2回、春・秋)

各区市民センター(6会場) 参加者延 645名

高齢者が自分の体力レベルを知ることは、健康づくり、介護予防を推進するにあたり重要である。保健体育部員、シルバースポーツ推進員が中心となり、6種目について体力測定を行う。筋力や全身持久力、バランス能力などを計測し、結果を今後の健康づくり介護予防に資する。

(7)第35回 シルバースポーツセミナーの開催

6月4日~21日

本事業は、高齢者が心と身体のリクリエーションを通して日常生活の健康づくりと介護予防のきっかけ作りを行う。市政だよりに掲載し、一般高齢者にも参加を呼びかけ地域住民相互の親睦と老人クラブ活動の充実を図る。

【なお、一般参加者からは参加費100円を徴収】

全市9会場 参加者 延べ1,662名

台原	木町通	落合	宮城西	宮城野区中央
133	99	155	106	205
若林区中央	太白区中央午前	太白区中央午後	黒松	
323	270	197	174	

9 教養文化活動の推進

(1)健康歌謡教室の開催(全7回)

9月13日～11月15日

仙台市台原老人福祉センター 受講者 94名

老人クラブ会員の健康増進、友愛活動、地域活動の活性化を図るため事業の一環として開催する。

講師：歌謡曲 滝本 耕平氏

(2)合唱団シルバースターズの育成

団員 35名

<出演報告>

・青葉はつらつ明老祭、台原音楽祭に参加発表

(3)脳の健康づくり研修会

12月4日

仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者 238名

・講演：「成りたちから考える認知症の現在」

講師：東北福祉大学総合福祉学部 教授 高野 毅久氏

10 在宅福祉を支える活動の推進

(1)高齢者相互支援活動委員、モデル地区老連合同打ち合せ(6月、11月)

2回

5区のモデル地区代表者と高齢者相互支援活動委員が、モデル地区指定2年目の事業推進に向け意見交換を行い、友愛訪問チームで声掛け等の活動の推進を図る。

(2)高齢者相互支援活動リーダー研修会

12月18日

仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者 157名

① 報告 地域包括支援センターとの活動連携

～太白区老人クラブ連合会の取組について～

太白区老人クラブ連合会 顧問 高橋 精史

② 高齢者相互支援活動指定モデル地区の活動発表

発表者：青葉区 中山川平地区老連 佐藤 陽子

宮城野区 榴岡地区老連 野田 幸代

若林区 荒町地区老連 引地 和敏

太白区 生出地区老連 佐藤 栄

泉区 東一地区老連 佐藤 範昭

<主な活動内容>

・訪問(話し相手、声掛安否確認、家事援助、日常生活援助、外出援助) 延2,116回

・サロン開催

417回

11 仙台市関連事業

(1)第54回仙台市社会福祉大会へ参加

9月5日

仙台市長表彰(社会福祉団体)

仙台サンプラザホール

大会において、下記の皆様に、日頃の老人クラブ活動による社会貢献に対し、仙台市長より感謝状が授与されました。

青葉区 今野 きみ 青葉区 富安 敏男

青葉区 菅原 弘行 太白区 寺崎 一英

太白区 大宮 きくの 泉区 坂爪 卓

泉区 近藤 清治

(2)仙台市、(公財)仙台市健康福祉事業団主催の行事へ参加協力

①高齢者生きがい健康祭

9月28日

勾当台公園市民広場 来場者 約10,000名

<ステージ発表>青いダイヤモンド（宮城野区レクダンス部）

仙台音頭（泉区女性部）、
東京五輪音頭（滝本耕平先生ほか）
団体演技披露（六和功）

<ブース> 青葉区 豚汁、産直野菜販売、コーヒーコーナー
女性部 手芸等作品の展示・販売、産直野菜販売

② 介護予防月間「元気力アップフェスティバル」 11月17日
仙台市シルバーセンター1F アトリウム 来場者 約150名

- ・写真パネル展示（仙老連の日常活動等を写真で紹介）
- ・実演・講習（輪投げ、グラウンド・ゴルフ、ダーツ）
- ・相談コーナー

(3) 全国交通安全運動出発式・街頭キャンペーン、パレードへ参加
春、秋の2回 参加者延200名